

2WD

フューエルシステム	2
・燃料漏れ点検	2
フューエルゲージ・フューエルフィルター・	
フューエルポンプ ASSY	3
・取り外し、取り付け	3
・分解、組み立て	6
フューエルタンク	8
・取り外し、取り付け	8
サービスデータ	10
・基準値、限度値	10
・締付トルク	10

4WD

準備品	11
・特殊工具	11
フューエルシステム	12
・燃料漏れ点検	12
フューエルゲージ・フューエルフィルター・	
フューエルポンプ ASSY	13
・取り外し、取り付け	13
・分解、組み立て	17
フューエルタンク	19
・取り外し、取り付け	19
サービスデータ	22
・基準値、限度値	22
・締付トルク	22

フューエルシステム

PPF:17503

燃料漏れ点検

JBS00D5H

以下の項目を目視により点検する。

- キースイッチを ON（エンジン非始動状態）にし、燃料配管に圧力をかけた状態で燃料の漏れがないこと。
- エンジンを始動し、回転を上げたとき燃料の漏れがないこと。
- 燃料ホースに損傷、劣化がないこと。
- 各ホースクランプに緩みがないこと。
- フィラーキャップのシール部に損傷、劣化、き裂がないこと。
- 燃料配管固定用クリップに割れ、外れなどがいないこと。

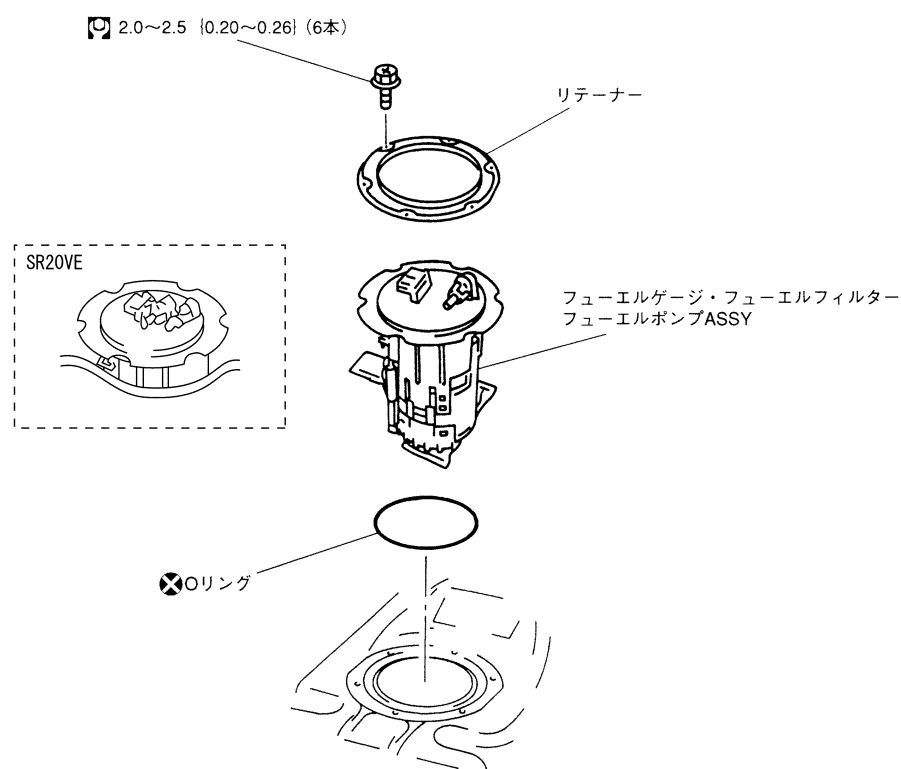
フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY

PFP:17042

JBS00D5I

取り外し、取り付け

SEC. 172



KBIA1114J

取り外し

警告： 燃料系の部品を交換するときは、次に注意して行うこと。

- ・「注意：可燃物有り」の表示をすること。
- ・換気の良い火気のない場所で行うこと。
- ・消火器をそばに置いて作業すること。
- ・抜き取った燃料は安全な場所に保管すること。

注意： ・バッテリーのマイナス端子は外しておくこと。

- ・組み付けるとき、ホースやチューブを曲げたりねじったりしないこと。
- ・ホースを傷つけないようにクランプは必要以上に締め付けないこと。

1. 燃圧を除去する。

QG18DE：『[燃圧の点検](#)』(EC-25 ページ)

QR20DE：『[燃圧の点検](#)』(EC-176 ページ)

QR25DD：『[燃圧の点検](#)』(EC-486 ページ)

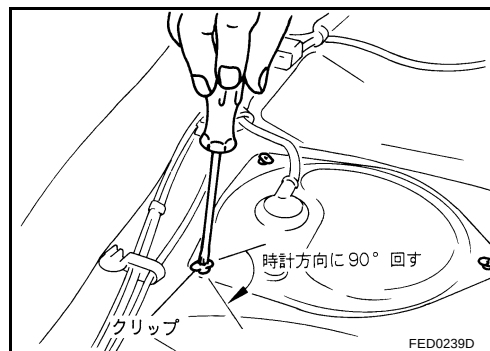
SR20VE：『[燃圧の点検](#)』(EC-685 ページ) を参照する。

2. フューエルフィルターリッドを開ける。

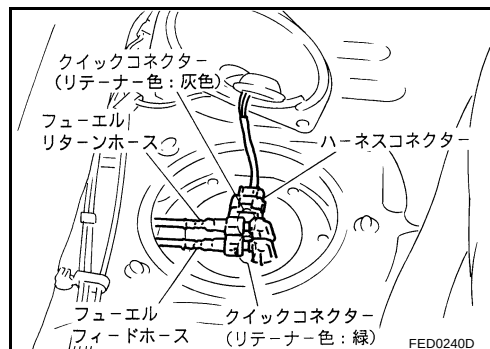
3. フィラーキャップを開放し、フューエルタンクの内圧を抜く。

4. リヤシートのシートクッション（座面）を取り外す。

5. インスペクションホールカバーを取り外す。
 - ・ドライバーでクリップを時計方向に 90° 回して取り外す。



6. ハーネスコネクタ及びフューエルホースを外す。
 参考：QG18DE、QR 系にフューエルリターン経路は無し。(図は SR20VE を例に示す)

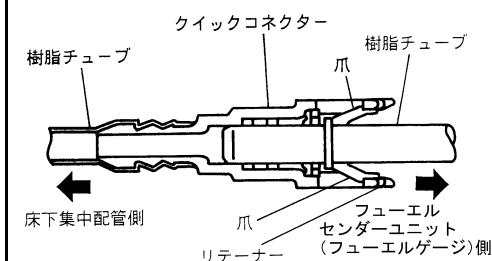


- ・クイックコネクタは以下の要領で外す。
 - リターナーを指でつまんだ状態でクイックコネクタを引き離す。
 - コネクタとセンサーユニット (フューエルゲージ) 側チューブが固着している場合は数回押し引きして動く状態になってから引き抜く。

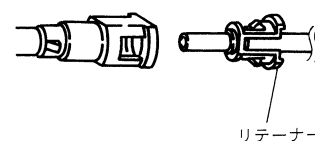
- 注意：**
- ・樹脂チューブに熱源を近づけないこと。特に付近で溶接作業を行う場合は注意すること。
 - ・樹脂チューブにバッテリー液等、酸性の液体を付着させないこと。
 - ・脱着時、チューブを曲げたりねじったりしないこと。
 - ・リターナーは取り外さないこと。
 - ・フューエルゲージを交換する場合はリターナーも新品と交換すること。
 - ・リターナーは、交換前と同色のリターナーに交換すること。

リターナー色 フィード側 : 緑色
 リターン側 : 灰色 (SR20VE のみ)

接続状態 (断面)



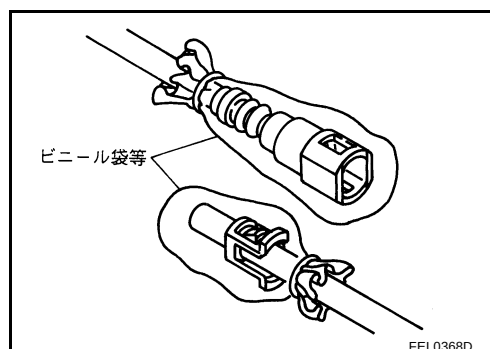
引き抜いた状態



KBIA0221J

- ・損傷、異物の付着を防ぐため、ビニール袋等で完全に覆う。
7. フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY を取り外す。

- 注意：**
- ・フロートアームを曲げないように取り外すこと。
 - ・落下などの衝撃を与えないように取り扱うこと。



取り外し後の点検

- ・フューエルポンプのストレーナーに異物の付着がないことを確認し、付着がある場合は取り除く。

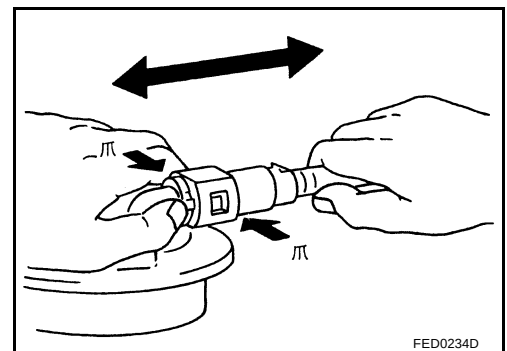
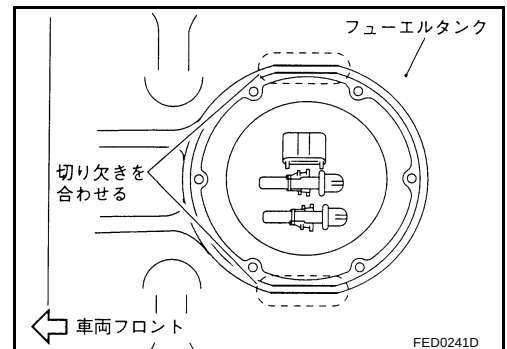
取り付け

以下に注意して取り外しと逆の手順で取り付ける。

- ・フューエルゲージのホースコネクター部を車両前方に向け、裏面のノックピンとフューエルタンク側のピン穴を合わせて取り付ける。
- ・リテーナーは切り欠き部がフューエルタンクの切り欠き部と平行になるように取り付ける。(図は SR20VE を例に示す)
- ・リテーナー取付ボルトは均等に締め付ける。

注意： ボルトは純正部品を使用すること。

- ・クイックコネクターは以下の手順で接続する。
 - 接続部に損傷、異物の付着がないことを確認する。
 - コネクターと軸心を合わせ、「カチッ」と接続音がするまでチューブをまっすぐ挿入する。
 - 接続後、以下の方法で確実に接続されていることを確認する。
 - ・リテーナーの爪が 2 箇所ともコネクターに接続されていることを目視で確認する。
 - ・チューブとコネクターを引っ張り、確実に接続されていることを確認する。



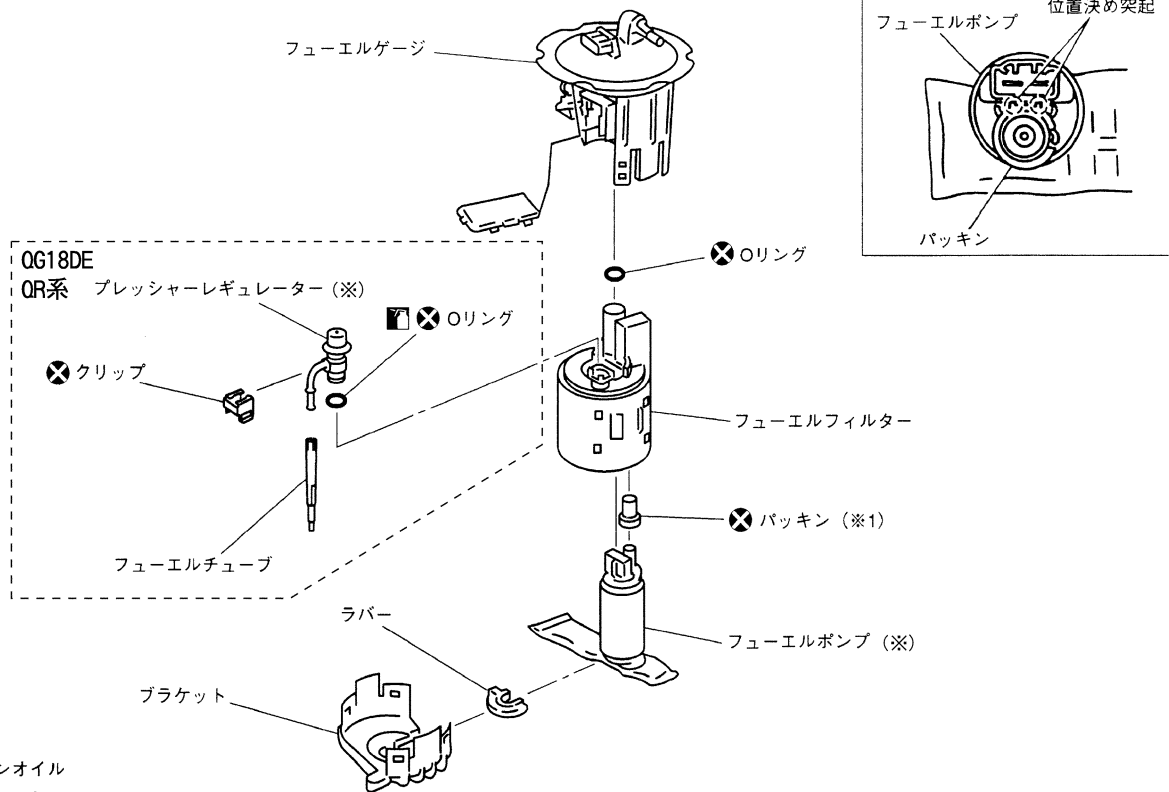
取り付け後の点検

- ・以下の手順で燃料の漏れがないことを確認する。
 1. キースイッチを ON (エンジン非始動状態) にし、燃料配管に圧力をかけた状態で燃料の漏れがないことを確認する。
 2. エンジンを始動し回転を上げて、燃料の漏れがないことを確認する。

分解、組み立て

JBS0005J

SEC. 172



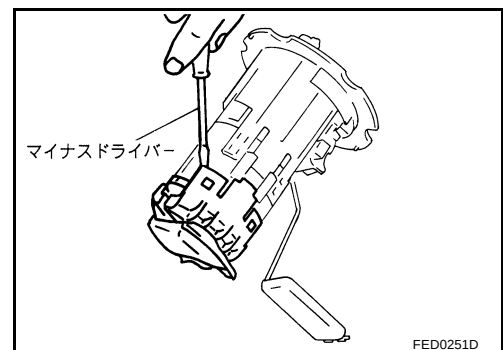
KBIA1439J

- 参考: ・ 図の※印のプレッシャーレギュレーター、フューエルポンプはエンジン駆動側と区別するためそれぞれ「低圧プレッシャーレギュレーター」、「低圧フューエルポンプ」と称する。[QR25DD]
- ・ 図のフューエルゲージの形状は QR 系を例に示す。

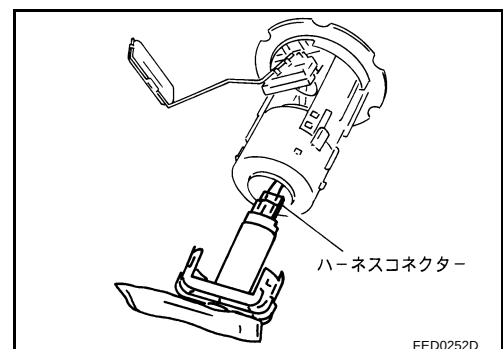
分解

1. フューエルポンプを取り外す。

- 図の部分 (全 4 箇所) をマイナスドライバー等で持ち上げ、爪の引っかかりを外して分離する。
- 取付時に誤接続しないようフューエルフィルター側及びフューエルポンプ側ケース外周に、合いマークを燃料等で消えない方法で付けておく。

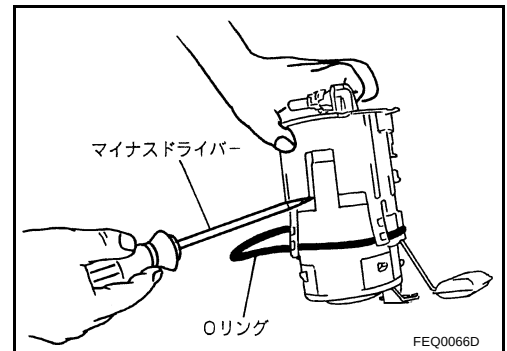


- フューエルポンプを引き出し、ハーネスコネクタを外して取り外す。



2. フューエルフィルターとフューエルゲージを分離する。

- a. フューエルゲージとフューエルフィルターとの間に使用済みの O リングを噛ませ、爪の引っかかりを外す。
 - ・ O リングはフューエルゲージ～フューエルタンク間の O リングを使用する。
 - ・ 取付時の参考用にフューエルゲージ側及びフューエルフィルター側ケース外周に、合いマークを燃料等で消えない方法で付けておく。
- b. マイナスドライバー等をフューエルフィルターとフューエルゲージのすきまに入れ、分離する。



注意：・ 傷を付けないようウエス等を使用すること。

- ・ 分離する際、横方向の力をかけると、フューエルゲージ～フューエルフィルター間の樹脂チューブが折損する恐れがあるので、フューエルゲージはまっすぐ引いて分離すること。

3. フューエルフィルターからプレッシャーレギュレーターを取り外す。[QG18DE、QR 系]

- a. クリップを開いて取り外す。
- b. プレッシャーレギュレーターをフューエルフィルターからまっすぐ抜き取る。

注意：・ フューエルチューブを損傷させないように取り扱うこと。

- ・ 落下等、衝撃を与えないよう取り扱うこと。
- ・ 分解、調整は行わないこと。

組み立て

以下に注意し分解と逆の手順で組み立てる。

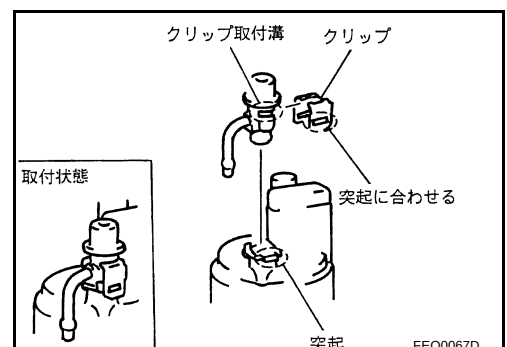
- ・ フューエルゲージ及びブラケットは爪を合わせて取り付け、「カチッ」と音がすることで確実に取り付けられていることを確認する。
- ・ フューエルポンプのハーネスコネクタは確実に接続する。
- ・ プレッシャーレギュレーターの O リングは以下に注意して取り付ける。[QG18DE、QR 系]

注意：・ 新品と交換すること。

- ・ 素手で取り扱うこと。(手袋の使用禁止)
- ・ O リング及び取付部品、相手方部品に異物の付着、傷がないか目視で点検すること。
- ・ エンジンオイルを塗布して取り付けること。
- ・ 損傷するような無理な外力（引っ張る、伸ばす等）をかけないこと。

- ・ プレッシャーレギュレーターは以下の手順で取り付ける。
[QG18DE、QR 系]

1. レギュレーターの溝にクリップを挿入する。
2. クリップ装着状態で、フューエルフィルター側の突起とクリップ側の切り欠きが合うようにレギュレーターをまっすぐ挿入する。
3. フューエルフィルター側の突起とクリップ側の切り欠きに確実にかん合した状態を確認する。

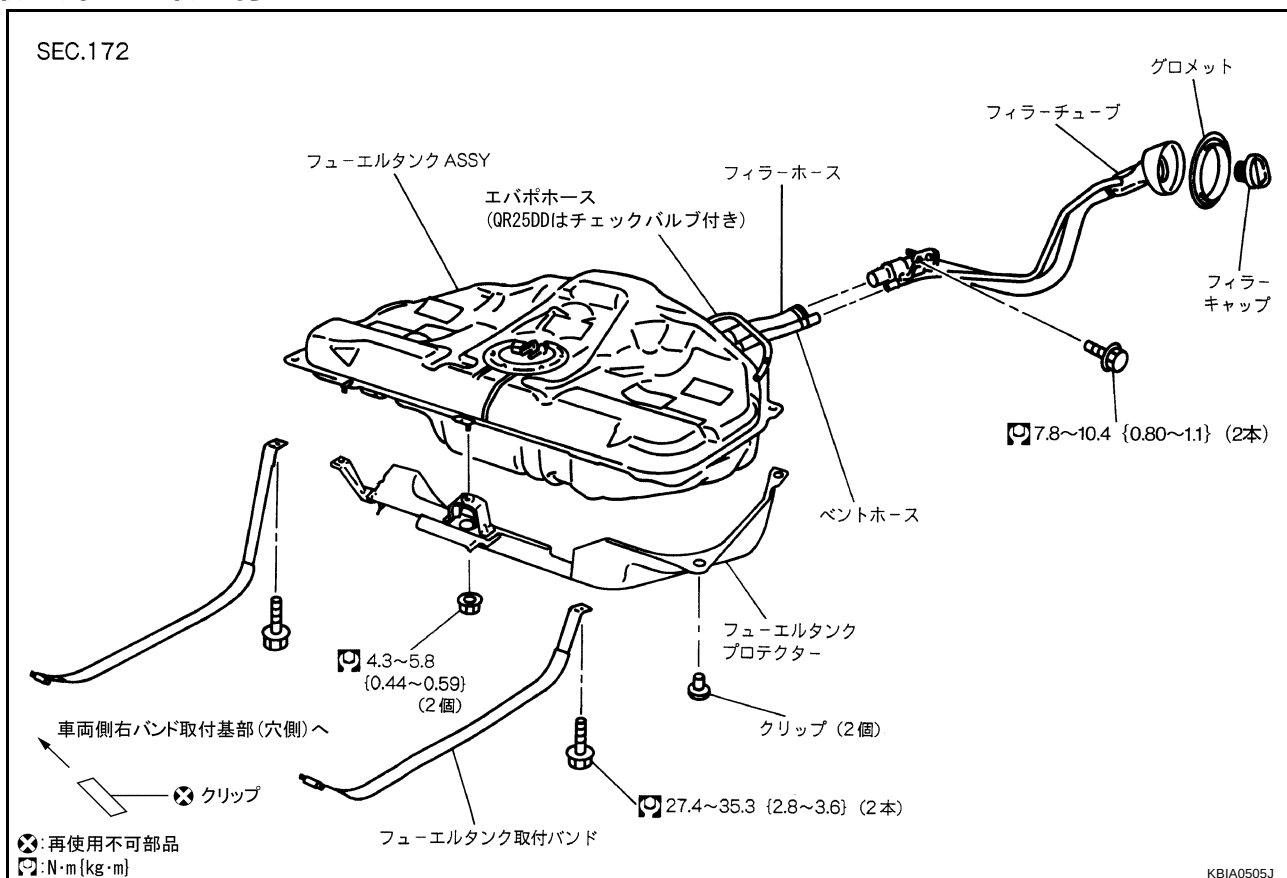


フューエルタンク 取り外し、取り付け

PFP:17202

JBS00D5K

SEC.172



取り外し

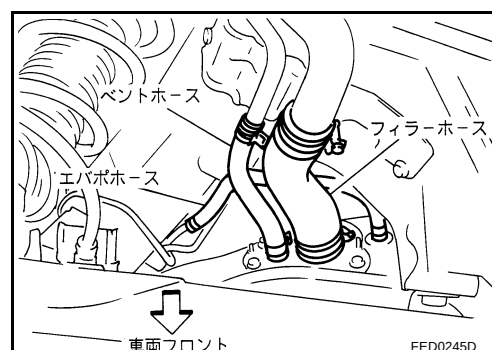
警告: 燃料系の部品を交換するときは、次に注意して行うこと。

- ・「注意：可燃物有り」の表示をすること。
- ・換気の良い火気のない場所で行うこと。
- ・消火器をそばに置いて作業すること。
- ・抜き取った燃料は安全な場所に保管すること。

注意: ・バッテリーのマイナス端子は外しておくこと。

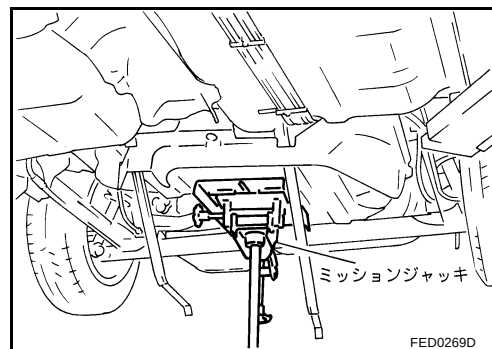
- ・組み付けるとき、ホースやチューブを曲げたりねじったりしないこと。
- ・ホースを傷つけないようにクランプは必要以上に締め付けないこと。

1. 「フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY」**「取り外し」(FL-3 ページ)** の手順 1 から 6 を行う。
2. 燃料の残量を確認し、必要に応じて燃料を抜き取る。
3. センターマフラーを取り外す。
4. フューエルタンク左側後方でフィラーホース、ベントホース、エバポホースを外す。(図は QR25DD を例に示す)

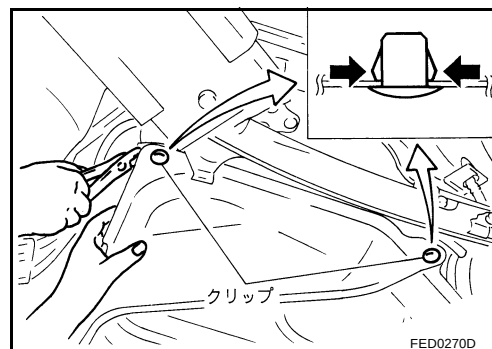


5. フューエルタンクプロテクターを取り外す。

- a. ミッションジャッキでフューエルタンク底面を支え、フューエルタンク取付ボルトを外す。



- b. フューエルタンクを 7 ～ 8cm 程度下げ、プロテクター取付ナット(2 個)及びクリップ(2 個)を外してプロテクターを取り外す。
 - ・クリップはタンク上部からプライヤー等で図矢印の突起をつまんで取り外す。



6. フューエルタンク取付バンドを外す。

- ・右バンド側のみバンド前端部車両側のクリップを事前に取り外す。

7. フューエルタンクフロント側でパーキングブレーキケーブルを移動する。

8. 車両側部品と干渉しないよう注意しながらミッションジャッキを下げてフューエルタンクを取り外す。

取り付け

以下に注意して取り外しと逆の手順で行う。

- ・各ホースは以下寸法まで挿入し、確実にクランプで固定する。

フィルターホース : 35mm

その他 : 25mm

- ・クランプはチューブのバルジ（段差）部分にかからないように取り付ける。
- ・フィルターホースのクランプ（両端）は締め残しが 8 ～ 10mm になるように締め付ける。
- ・右バンド前端側のクリップは車両中央から外側の方向で車両側ブラケットのバンド取付穴をふさぐ様確実に取り付け。

注意：クリップは新品と交換すること。

- ・クイックコネクターの接続要領は「フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY」**「取り付け」**(FL-5 ページ) を参照する。

取り付け後の点検

- ・以下の手順で燃料の漏れがないことを確認する。

1. キースイッチを ON(エンジン非始動状態)にし、燃料配管に圧力をかけた状態で燃料の漏れがないことを確認する。
2. エンジンを始動し回転を上げて、燃料の漏れがないことを確認する。

サービスデータ

[2WD]

サービスデータ

PFP:00030

基準値、限度値

JBS00D5L

燃料タンク容量 (ℓ)	60
-------------	----

締付トルク

JBS00D5M

単位：N・m {kg・m}

フューエルゲージ	2.0 ～ 2.5 {0.20 ～ 0.26}
フューエルタンク取付バンド	27.4 ～ 35.3 {2.8 ～ 3.6}
フィルターチューブ	7.8 ～ 10.4 {0.80 ～ 1.1}
フューエルタンクプロテクター	4.3 ～ 5.8 {0.44 ～ 0.59}

準備品
特殊工具

PFP:00002

JBS00D5N

A

FL

C

D

E

F

G

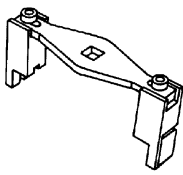
H

I

J

K

L

名称	用途
ロックリングレンチ KV991 04700  ZZA0122D	フューエルタンクセnderユニット ロックリング脱着

フューエルシステム

PFP:17503

燃料漏れ点検

JBS00D50

以下の項目を目視により点検する。

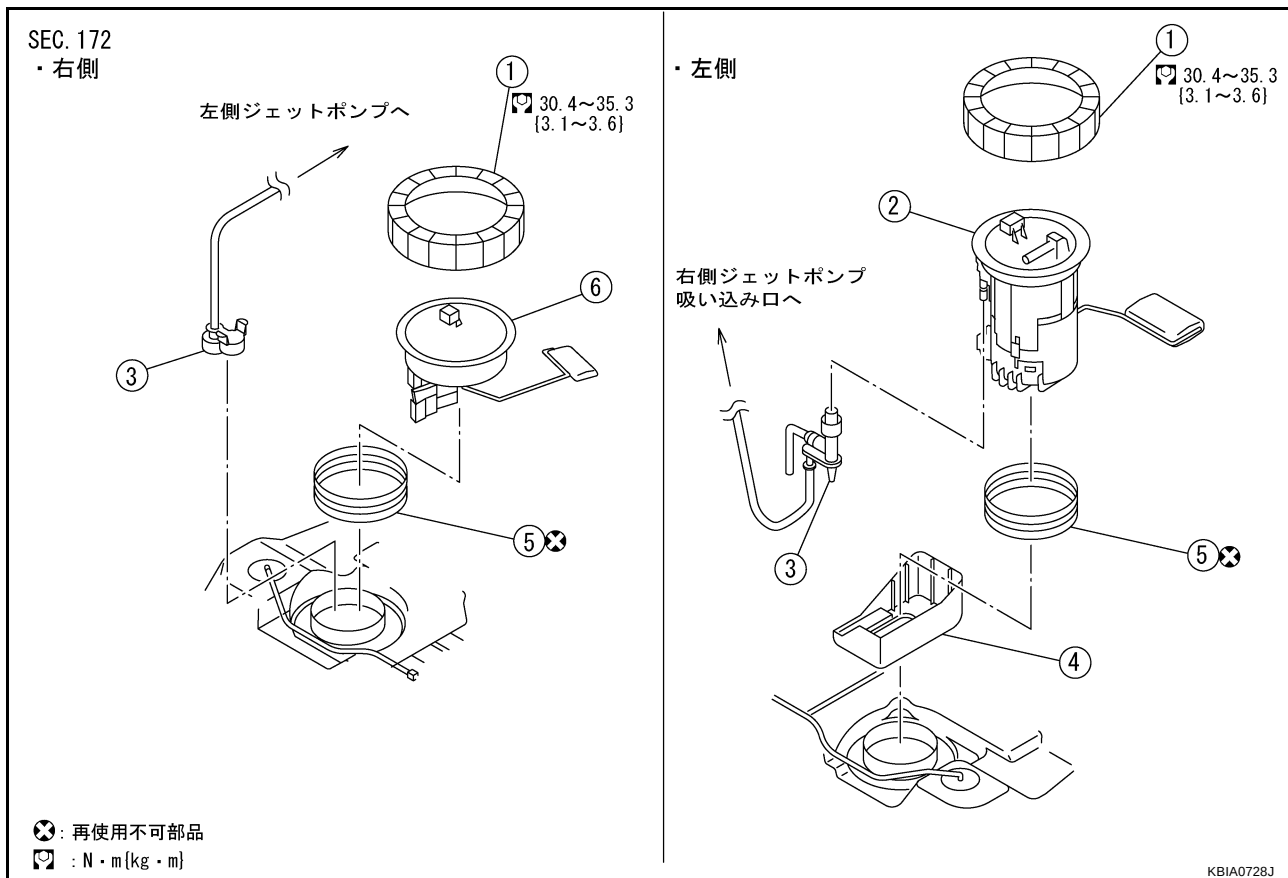
- キースイッチを ON（エンジン非始動状態）にし、燃料配管に圧力をかけた状態で燃料の漏れがないこと。
- エンジンを始動し、回転を上げたとき燃料の漏れがないこと。
- 燃料ホースに損傷、劣化がないこと。
- 各ホースクランプに緩みがないこと。
- フィラーキャップのシール部に損傷、劣化、き裂がないこと。
- 燃料配管固定用クリップに割れ、外れなどがいないこと。

フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY

PFP:17042

取り外し、取り付け

JBS00D5P



- | | | |
|-----------|---|---|
| 1. ロックリング | 2. メインフューエルゲージ・フューエル
フィルター・フューエルポンプ ASSY | 3. ジェットポンプ・フューエルホース・
ジェットポンプ吸いこみ口 ASSY |
| 4. チャンバー | 5. シールパッキン | 6. サブフューエルゲージ |

取り外し

警告: 燃料系の部品を交換するときは、次に注意して行うこと。

- ・「注意：可燃物有り」の表示をすること。
- ・換気の良い火気のない場所で行うこと。
- ・消火器をそばに置いて作業すること。
- ・抜き取った燃料は安全な場所に保管すること。

注意: ・バッテリーのマイナス端子は外しておくこと。

- ・組み付けるとき、ホースやチューブを曲げたりねじったりしないこと。

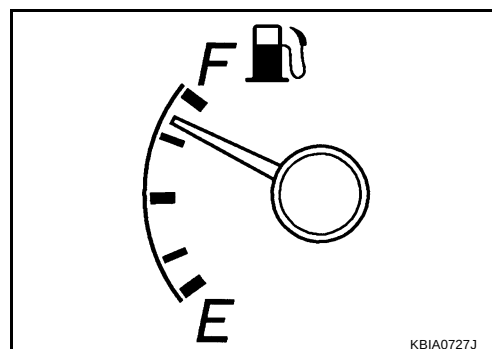
1. 燃圧を除去する。[「燃圧の点検」\(EC-176 ページ\)](#) を参照する。

2. 燃料の残量を確認し、ゲージの表示が図の指針以上にある場合（満タン又は満タンに近い状態）は、図の指針以下になるまでフューエルタンクから燃料を抜き取る。

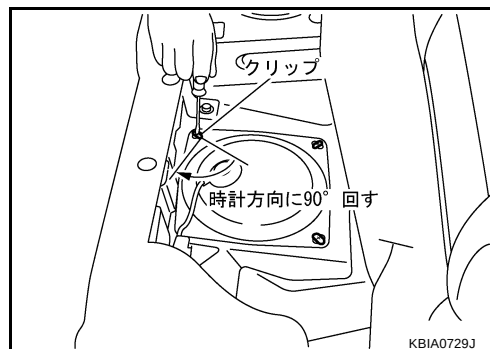
フューエルポンプ故障時には、給油口より外径 25mm 以下のホースを差し込み、フィルターチューブ内の燃料を抜き取る。更に、フィルターチューブとフィルターホースの接続部を外し、フィルターホースより燃料を抜き取る。

- ・目安として満タンから15%程度抜き取ると図の位置以下となる。

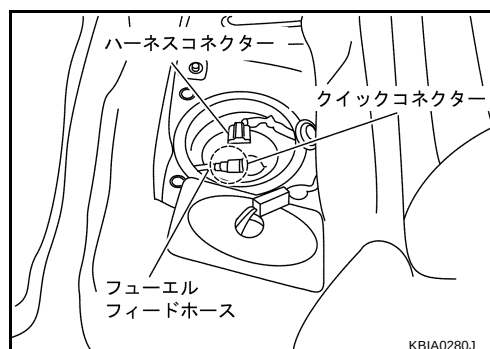
参考：フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY 又はサブフューエルゲージを外した時、燃料がこぼれるのを防止するため。



3. フューエルフィルターリッドを開ける。
4. フィラーキャップを開放し、フューエルタンクの内圧を抜く。
5. リヤシートのシートクッション（座面）を取り外す。
6. インスペクションホールカバーを取り外す。
 - ・ 作業対象により、左右いずれかを取り外す。
 - 左側：メインフューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY
 - 右側：サブフューエルゲージ
 - ・ ドライバーでクリップを時計方向に 90° 回して取り外す。



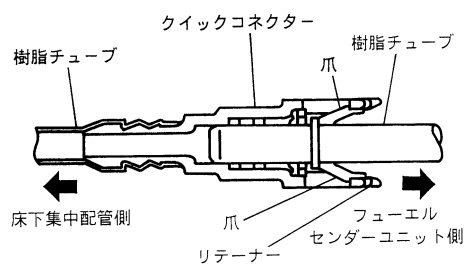
7. ハーネスコネクタ及びフューエルフィードホースを外す。
- 参考：フューエルリターン経路は無し。
- ・ 右側はハーネスコネクタのみ。



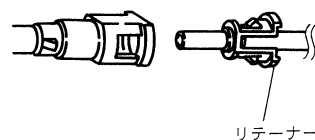
- ・ クイックコネクタは以下の要領で外す。
 - リテーナーを指でつまんだ状態でクイックコネクタを引き離す。
 - クイックコネクタとセnderユニット側チューブが固着している場合は数回押し引きして動く状態になってから引き抜く。
- 注意：**
- ・ 樹脂チューブに熱源を近づけないこと。特に付近で溶接作業を行う場合は注意すること。
 - ・ 樹脂チューブにバッテリー液等、酸性の液体を付着させないこと。
 - ・ 脱着時、チューブを曲げたりねじったりしないこと。
 - ・ チューブ側に残ったリテーナーは取り外さないこと。
 - ・ セnderユニットを交換する場合はリテーナーも新品と交換すること。
 - ・ リテーナーは、交換前と同色のリテーナーに交換すること。

リテーナー色 : 緑色

接続状態（断面）

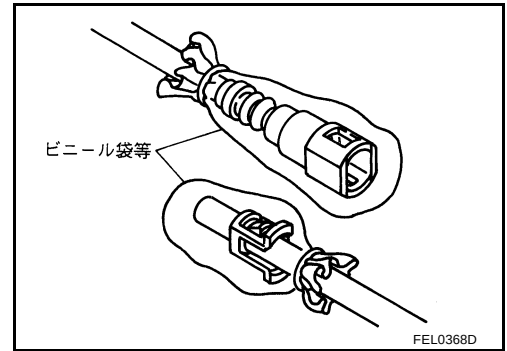


引き抜いた状態

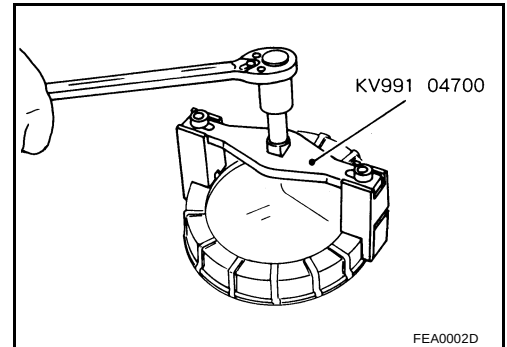


FEL0375D

- ・ 損傷、異物の付着を防ぐため、ビニール袋等で完全に覆う。



8. ロックリングレンチ (特殊工具) を用いてロックリングを取り外す。



9. 以下の要領でメインフューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY、サブフューエルゲージを取り外す。

- 注意：**・ フロートアームを曲げないように取り外すこと。
・ 落下等の衝撃を与えないよう取り扱うこと。

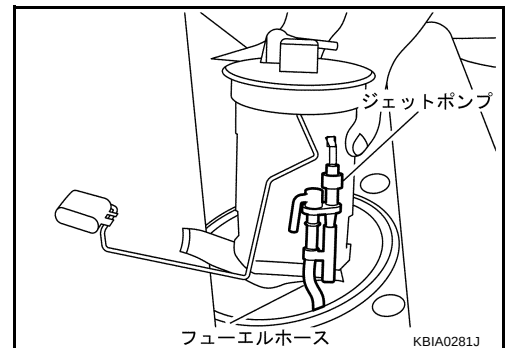
左側（メインフューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY）

- ・ センダーユニットを持ち上げ、ジェットポンプを外して取り外す。
- ・ ジェットポンプはフューエルホースと共にフューエルタンク側に残す。
- ・ 必要に応じてフューエルタンク底部のチャンバーを取り外す。
- ・ チャンバーは車両後方にスライドさせて取り外す。

右側（サブフューエルゲージ）

- ・ センダーユニットを持ち上げて外して取り外す。
- ・ 必要に応じてフューエルタンク底部のジェットポンプ吸い込み口を取り外す。
- ・ ジェットポンプ吸い込み口は爪（2箇所）をつまんで外す。

- 注意：** ジェットポンプ吸い込み口とフューエルホースは分離しないこと。



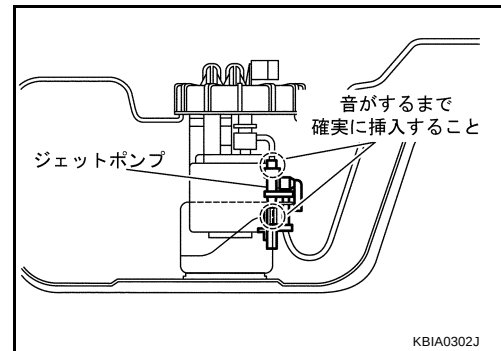
取り外し後の点検

- ・ フューエルポンプのストレーナーに異物の付着がないことを確認し、付着がある場合は取り除く。

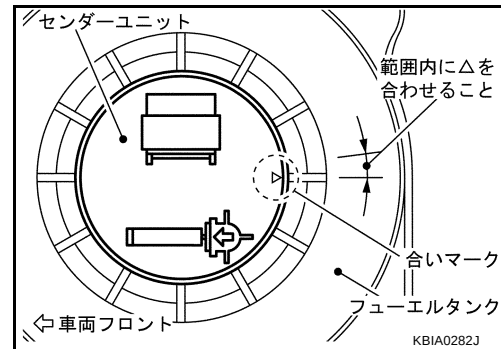
取り付け

以下に注意して取り外しと逆の手順で取り付ける。

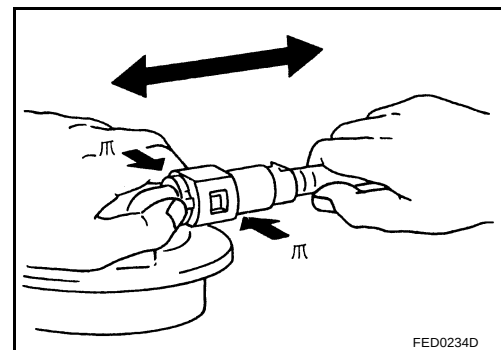
- チャンバー及びジェットポンプは取付時、抜け止め爪が掛かった音がするまで確実に挿入する。(右側のジェットポンプ吸い込み口についても同様)



- センダーユニットはフューエルタンク側の刻線間に合いマーク（三角突起）が向くように取り付ける。(図は左側を示す)
参考：右側はフューエルタンク側に刻線が3本あり、その両端間に合いマークを向ける。
- インспекションホールカバーは、フロントマーク（矢印）を車両前方に向けて取り付ける。(左右共)



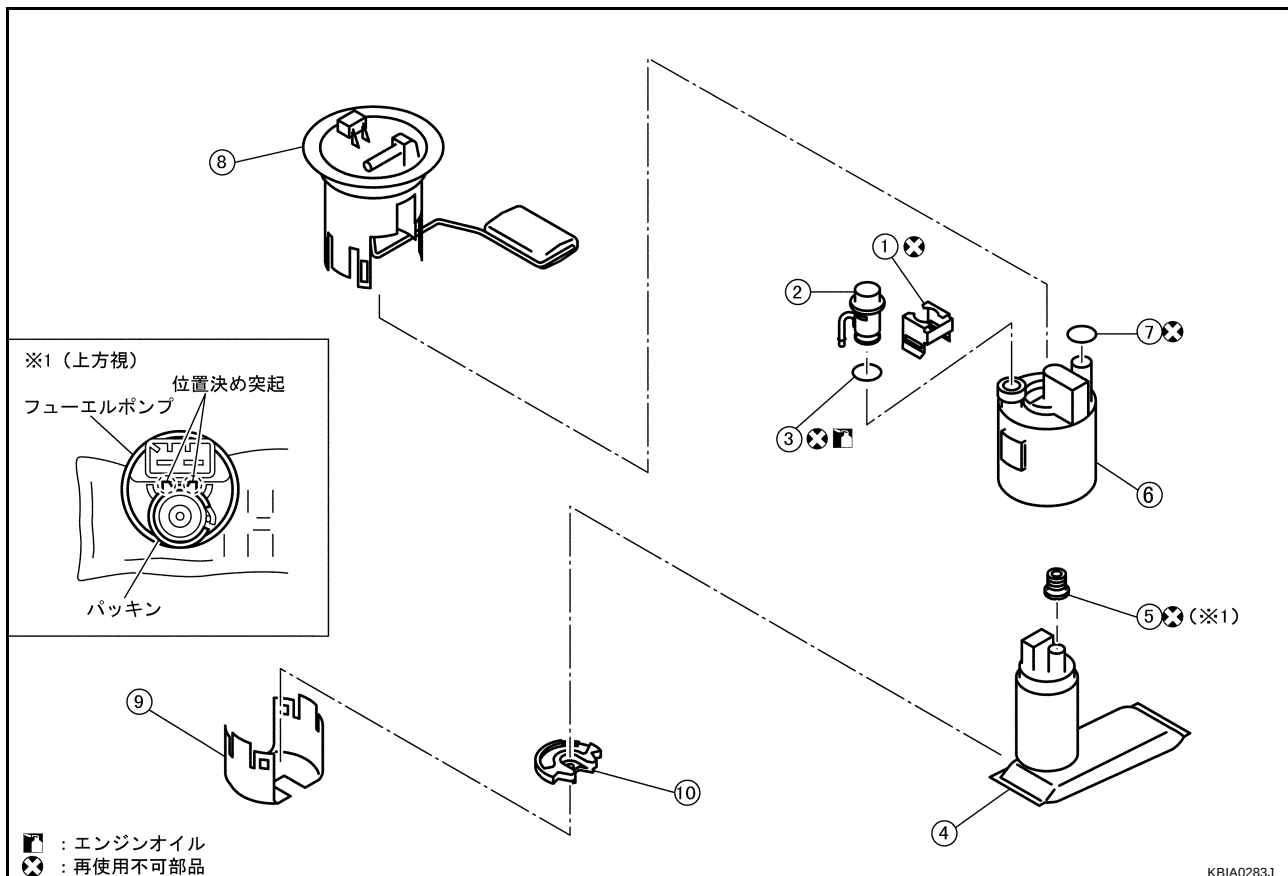
- クイックコネクターは以下の手順で接続する。
 - 接続部に損傷、異物の付着がないことを確認する。
 - コネクターと軸心を合わせ、「カチッ」と接続音がするまでチューブをまっすぐ挿入する。
 - 接続後、以下の方法で確実に接続されていることを確認する。
 - リテーナーの爪が2箇所ともコネクターに接続されていることを目視で確認する。
 - チューブとコネクターを引っ張り、確実に接続されていることを確認する。



取り付け後の点検

- 以下の手順で燃料の漏れがないことを確認する。
 1. キースイッチを ON(エンジン非始動状態)にし、燃料配管に圧力をかけた状態で燃料の漏れがないことを確認する。
 2. エンジンを始動し回転を上げて、燃料の漏れがないことを確認する。

分解、組み立て



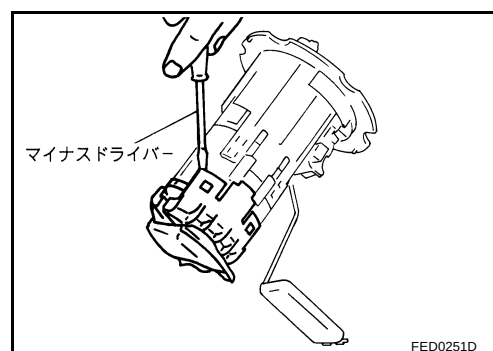
- | | | |
|-------------|------------------|---------------|
| 1. クリップ | 2. プレッシャーレギュレーター | 3. Oリング |
| 4. フューエルポンプ | 5. パッキン | 6. フューエルフィルター |
| 7. Oリング | 8. フューエルゲージ | 9. ブラケット |
| 10. ラバー | | |

参考：・サブフューエルゲージは非分解のため、以下はメインフューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY について記載する。

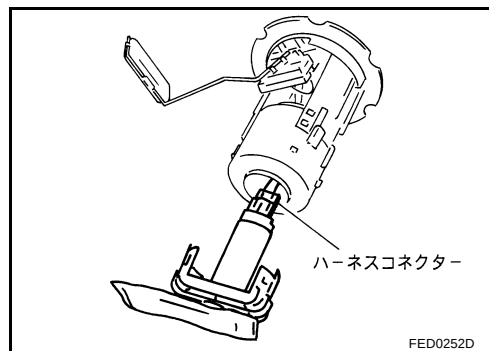
分解

1. フューエルポンプを取り外す。

- 図の部分 (全 4 箇所) をマイナスドライバー等で持ち上げ、爪の引っかかりを外して分離する。
- 取付時に誤接続しないようフューエルフィルター側及びフューエルポンプ側ケース外周に、合いマークを燃料等で消えない方法で付けておく。

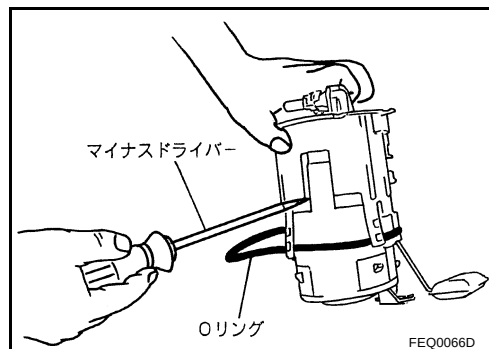


- b. フューエルポンプを引き出し、ハーネスコネクタを外して取り外す。



2. フューエルフィルターとメインフューエルゲージを分離する。

- a. メインフューエルゲージとフューエルフィルターとの間に使用済みの O リング等を噛ませ、爪の引っかかりを外す。
- ・ 取付時に誤接続しないようメインフューエルゲージ側及びフューエルフィルター側ケース外周に、合いマークを燃料等で消えない方法で付けておく。
- b. マイナスドライバー等をフューエルフィルターとメインフューエルゲージのすきまに入れ、分離する。



注意： 傷を付けないようウエス等を使用すること。

3. フューエルフィルターからプレッシャーレギュレーターを取り外す。

- a. クリップを開いて外す。
- b. プレッシャーレギュレーターをフューエルフィルターからまっすぐ抜き取る。

注意： ・ 落下等、衝撃を与えないよう取り扱うこと。

・ 分解、調整は行わないこと。

組み立て

以下に注意して、分解と逆の手順で組み立てる。

- ・ フューエルフィルター及びフューエルポンプは爪を合わせて取り付け、「カチッ」と音がすることで確実に取り付けられていることを確認する。
- ・ フューエルポンプのハーネスコネクタは確実に接続する。
- ・ プレッシャーレギュレーターの O リングは以下に注意して取り付ける。

注意： ・ 新品と交換すること。

・ 素手で取り扱うこと。(手袋の使用禁止)

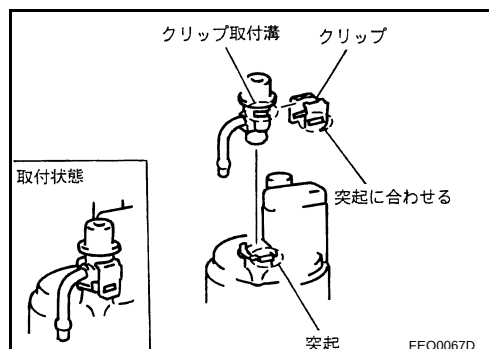
・ O リング及び取付部品、相手方部品に異物の付着、傷がないか目視で点検すること。

・ エンジンオイルを塗布して取り付けること。

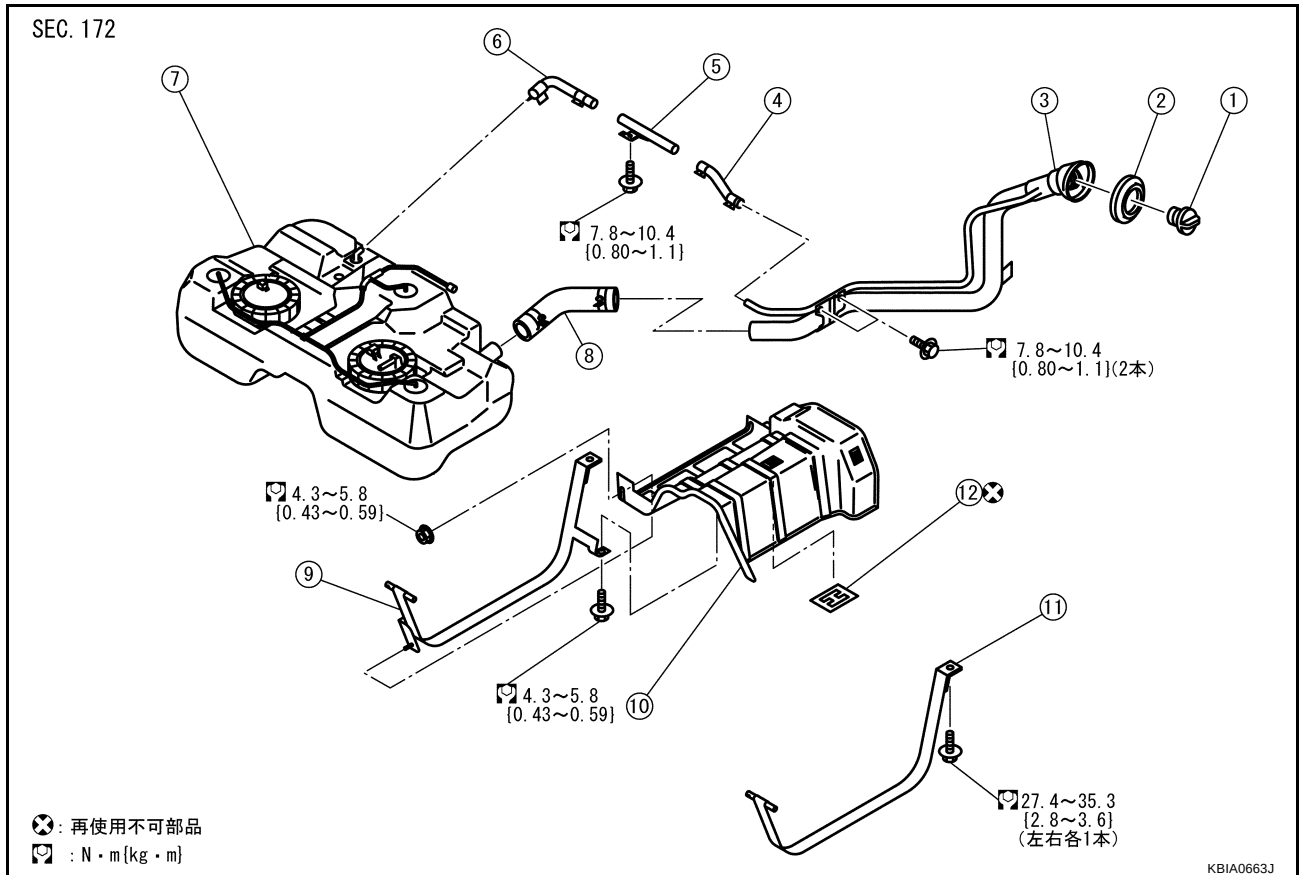
・ 損傷するような無理な外力(引っ張る、伸ばす等)をかけないこと。

- ・ プレッシャーレギュレーターは以下の手順で取り付ける。

1. レギュレーターの溝にクリップを挿入する。
2. クリップ装着状態で、フューエルフィルター側の突起とクリップ側の切り欠きが合うようにレギュレーターをまっすぐ挿入する。
3. フューエルフィルター側の突起がクリップ側の切り欠きに確実にかん合した状態を確認する。



フューエルタンク 取り外し、取り付け



- | | | |
|--------------------|-----------------------|----------------------|
| 1. フィラーキャップ | 2. グロメット | 3. フィラーチューブ |
| 4. ベントホース | 5. ベントチューブ | 6. ベントホース |
| 7. フューエルタンク | 8. フィラーホース | 9. フューエルタンク取付バンド (右) |
| 10. フューエルタンクプロテクター | 11. フューエルタンク取付バンド (左) | 12. クリップ (3個) |

取り外し

警告: 燃料系の部品を交換するときは、次に注意して行うこと。

- ・「注意：可燃物有り」の表示をすること。
- ・換気の良い火気のない場所で行うこと。
- ・消火器をそばに置いて作業すること。
- ・抜き取った燃料は安全な場所に保管すること。

注意: バッテリーのマイナス端子は外しておくこと。

- ・組み付けるとき、ホースやチューブを曲げたりねじったりしないこと。
- ・ホースを傷つけないようにクランプは必要以上に締め付けないこと。

1. 「フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY」の「取り外し」(FL-13 ページ)の手順 1 ~ 7 を行う。

- ・手順 6、7 は左右センサーユニット共実施する。

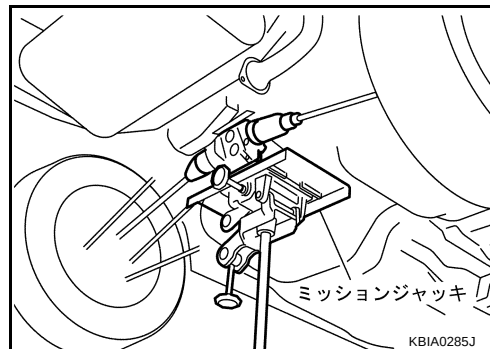
2. 必要に応じてフューエルタンクから燃料を抜き取る。

注意: 不安定な姿勢で脱着を行うため、残量が多い場合は必ず抜き取ること。

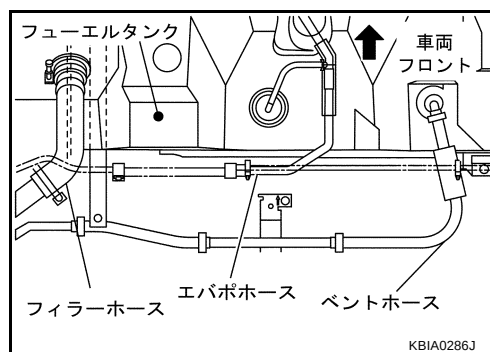
3. エキゾーストセンサーチューブを取り外す。

4. エキゾーストセンサーチューブの車両側インシュレーターを取り外す。

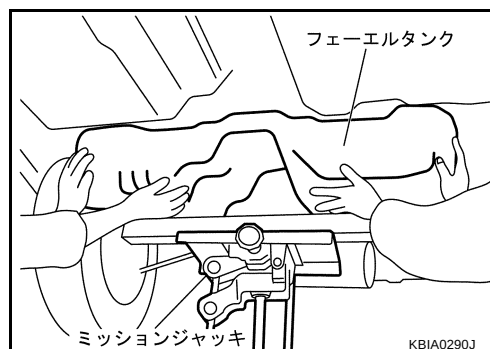
5. プロペラシャフトを取り外す。
6. ミッションジャッキでリヤファイナルドライブ ASSY 底面を支える。
参考：手順 6、7 はフィラーホース及びエバポホース分離時の作業スペース確保のため行う。
7. リヤサスペンションメンバー取付ナットを外し、リヤサスペンションメンバーが車両側スタッドボルトから外れない程度までミッションジャッキを慎重に下げる。



8. フューエルタンク後方でフィラーホース、エバポホース、ベントホースを外す。
・エバポホースのクイックコネクターの分離要領は「フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY」の「[取り外し](#)」(FL-13 ページ) を参照する。
9. フューエルタンクプロテクターを取り外す。



10. ミッションジャッキでフューエルタンク底面を確実に支えて取付バンドを外す。
注意： 板等を使用してタンク底面を左右均等に支えること。
11. フューエルタンクの左右を保持しながらミッションジャッキを慎重に下げる。
注意： フューエルタンク後方がリヤデファレンシャル前端部に干渉するため、ミッションジャッキの下降に伴いタンクは前下がり不安定な姿勢となるのでタンクが落下しないよう注意すること。



参考：作業は複数名で行うことが望ましい。

12. 車両前方に移動できる位置までフューエルタンク前方を下げてから、リヤデファレンシャル前端部上面と車体のすきまからフューエルタンクを引き出して取り外す。

取り付け

以下に注意して取り外しと逆の手順で行う。

- ・各ホースは以下寸法まで挿入し、確実にクランプで固定する。

フィラーホース : 35mm
その他 : 25mm

- ・クランプはチューブのバルジ（段差）部分にかからないように取り付ける。
- ・フィラーホースのクランプ（両端）は締め残しが下記寸法になるように締め付ける。

フューエルタンク側 : 5 ～ 9mm
フィラーチューブ側 : 7 ～ 11mm

- ・クイックコネクターの接続要領は「[フューエルゲージ・フューエルフィルター・フューエルポンプ ASSY](#)」(FL-13 ページ) を参照する。

取り付け後の点検

- 以下の手順で燃料の漏れがないことを確認する。
- 1. キースイッチを ON(エンジン非始動状態)にし、燃料配管に圧力をかけた状態で燃料の漏れがないことを確認する。
- 2. エンジンを始動し回転を上げて、燃料の漏れがないことを確認する。

A

FL

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

サービスデータ

[4WD]

サービスデータ

PFP:00030

基準値、限度値

JBS00D5S

フューエルタンク容量 (ℓ)	60
----------------	----

締付トルク

JBS00D5T

単位：N・m{kg・m}

セnderユニットロックリング	30.4 ～ 35.3 {3.1 ～ 3.6}
フューエルタンク取付バンド	27.4 ～ 35.3 {2.8 ～ 3.6}
フィラーチューブ	7.8 ～ 10.4 {0.80 ～ 1.1}
フューエルタンクプロテクター	4.3 ～ 5.8 {0.43 ～ 0.59}